

誌 上 発 表 Publications

[雑誌]

(原著論文) \*印は査読制度がある論文誌

Son T., Sakuragi M., Takahashi S., Obuse S., Kang J., Fujishiro M., Matsushita H., Gong J., Shimizu S., Tajima Y., Yoshida Y., Suzuki K., Yamamoto T., Nakamura M., and Ito Y.: “Visible light-induced crosslinkable gelatin”, *Acta Biomaterialia* **6**, 4005–4010 (2010). \*

Yue X., Fujishiro M., Toyoda M., Akaike T., and Ito Y.: “Reprogramming of somatic cells induced by fusion of embryonic stem cells using hemagglutinating virus of japan envelope (HVJ-E)”, *Biochem. Biophys. Res. Commun.* **394**, 1053–1057 (2010). \*

Yue X., Murakami Y., Tamai T., Nagaoka M., Cho C., Ito Y., and Akaike T.: “Construction of fusion protein n-cadherin-*fc* as an artificial extracellular matrix for maintenance of stem cell features”, *Biomaterials* **31**, 5287–5296 (2010). \*

Kobayashi T., Watanabe M., Yoshida A., Yamada S., Ito M., Abe H., Ito Y., Arisawa M., and Shuto S.: “Synthesis and structural and pharmacological properties of cyclopropane-based conformationally restricted analogs of 4-methylhistamine as histamine H3/H4 receptor ligands”, *Bioorg. Med. Chem.* **18**, 1076–1082 (2010). \*

Kim K., Lee J., Ito Y., Kang J., Song K., Jang E., and Son T.: “Preparation of photo-reactive azidophenyl chitosan derivative for immobilization of growth factors”, *J. Appl. Polym. Sci.* **117**, No. 5, pp. 3029–3037 (2010). \*

Na H., Kim K., Han J., Lee J., Han D., Ito Y., Song K., Jang E., and Son T.: “Synthesis of O-carboxylated low molecular chitosan with azido phenyl group: its application for adhesion prevention”, *Macromol. Res.* **18**, 1001–1007 (2010). \*

Mochizuki T., Tanimura A., Nezu A., Ito M., Abe H., Ito Y., Arisawa M., and Shuto S.: “Design and Synthesis of Indole Derivatives of Adenophostin A. A Entry into Subtype-Selective IP3 Receptor Ligands”, *Tetrahedron Lett.* **51**, 977–979 (2010). \*

[単行本・Proc.]

(原著論文) \*印は査読制度がある論文誌

Kang I., Xing Z., Yuan J., Kwon O., Kim J., and Ito Y.: “Fabrication, performance, and biomedical application of collagen-, gelatin- or keratin-containing PHBV nanofibers”, *Nanofibers: Fabrication, Performance, and Applications*, New York, USA, 2009–Nova Science Publishers, Inc., New York, pp. 345–374 (2009).

(総説)

伊藤嘉浩: “マイクロアレイとその応用”, シングルセル解析の最前線, シーエムシー出版, 東京, pp. 175–185 (2010).

伊藤嘉浩: “幹細胞と再生医療”, バイオマテリアルの基礎, 日本医学館, 東京, pp. 214–220 (2010).

口 頭 発 表 Oral Presentations

(国際会議等)

Ito Y.: “Design of Nano-Biointerfaces for Medical Devices”, 3rd Conference on Nanostructures, (Sharif University of Technology), Kish Island, Iran, Mar. (2010).

Ito Y.: “Design of nano-biointerface for medical devices”, Seminar in Sharif University, (Sharif University), Teheran, Iran, Mar. (2010).

Ito Y.: “Biomolecular engineering using oligonucleotides-gene detection, siRNA, and aptamer”, Seminar in Bordeaux University, (Bordeaux University), Bordeaux, France, June (2010).

Ito Y.: “Biomolecular engineering using oligonucleotides-gene detection, siRNA, and aptamer”, Seminar in Strasbourg University, (Strasbourg University), Strasbourg, France, June (2010).

Sasaki N., Gong J., Hosokawa K., Maeda M., and Ito Y.: “Pairing and fusion of heterotypic cells in a microchannel”, 14th International Conference on Miniaturized Systems for Chemistry and Life Sciences (MicroTAS 2010), Groningen, The Netherlands, Oct. (2010).

Ito Y.: “Design of biological surfaces for regenerative medicine”, Seminar in Chinese Academy of Science, (Changchun Institute of Applied Chemistry, Chinese Academy of Science), Changchun, China, Oct. (2010).

Ito Y.: “Design of biological surfaces for regenerative medicine”, Seminar in Northeast Normal University, (Northeast Normal University), Changchun, China, Oct. (2010).

(国内会議)

山=龍, 木村俊介, 長谷耕二, 海老澤昌史, 伊達康博, 常田聡, 鈴木治彦, 大野博司: “Functional analysis of CCL9 in intestinal immune system”, 第 61 回日本細胞生物学会大会, 名古屋, 6 月 (2009).

山=龍, 木村俊介, 長谷耕二, 海老澤昌史, 伊達康博, 常田聡, 鈴木治彦, 大野博司: “腸管M細胞におけるCCL9の機能解析”, 第 39 回日本免疫学会総会・学術集会, 大阪, 12 月 (2009).

伊達康博, 中西裕美子, 福田真嗣, 加藤完, 常田聡, 大野博司, 菊地淳: “安定同位体標識技術を活用した複合微生物系における新規代謝動態解析法”, 日本農芸化学会 2010 年度大会, (日本農芸化学会), 東京, 3 月 (2010).

阿部洋: “人工核酸分子を用いた遺伝子発現の解析と制御”, 大阪大学免疫学フロンティア研究センターセミナー, (大阪大学免疫学フロンティア研究センター), 吹田, 3 月 (2010).

岳曉珊, 村上裕太, 玉井俊行, 長岡正人, 伊藤嘉浩, 赤池敏宏: “Controlling of stem cell differentiation by N-cadherin-immobilized surface”, 第 9 回日本再生医療学会総会, (日本再生医療学会), 広島, 3 月 (2010).

岳曉珊, 藤城雅子, 赤池敏宏, 伊藤嘉浩: “Reprogramming of somatic cells induced by fusion of embryonic stem cell using Hemagglutinating Virus of Japan-envelope (HVJ-E)”, 第 9 回日本再生医療学会総会, (日本再生医療学会), 広島, 3 月 (2010).

阿部洋: “細胞内遺伝子発現の解析と制御を目的とした機能性

- 核酸分子の創製”, 日本薬学会第 130 年会, (社団法人日本薬学会), 岡山, 3 月 (2010).
- 劉明哲, 和田章, 白井晴奈, 阿部洋, 伊藤嘉浩: “リボソームディスプレイ法による光応答性ペプチドアプタマーの開発”, 第 59 回高分子学会年次大会, (高分子学会), 横浜, 5 月 (2010).
- 劉明哲, 許牧野, 阿部洋, 伊藤嘉浩: “PEG 修飾抗体の有機溶媒への可溶化”, 第 59 回高分子学会年次大会, (高分子学会), 横浜, 5 月 (2010).
- 田村泰嗣, 古川和寛, 阿部洋, 實吉尚郎, 常田聡, 伊藤嘉浩: “還元反応を引き金とする蛍光発生システムによる遺伝子検出”, 日本ケミカルバイオロジー学会第 5 回年会, (日本ケミカルバイオロジー学会), 横浜, 5 月 (2010).
- 中嶋裕子, 阿部洋, 相川京子, 伊藤嘉浩: “長期的な RNAi 活性を有する分岐型 RNA 構造体の構築”, 日本ケミカルバイオロジー学会第 5 回年会, (日本ケミカルバイオロジー学会), 横浜, 5 月 (2010).
- 西原みづき, 阿部洋, 烏田美和子, 阿部奈保子, 中嶋裕子, 常田聡, 伊藤嘉浩: “膜透過能を有する修飾ダンベル型 RNA による RNA 干渉法の開発”, 第 26 回日本 DDS 学会, (日本 DDS 学会), 大阪, 6 月 (2010).
- 加藤完, 福田真嗣, 伊達康博, 近山英輔, 中西裕美子, 坪井裕理, 常田聡, 守屋繁春, 菊地淳, 大野博司: “発現遺伝子情報に基づく腸内環境評価系の構築”, 第 14 回腸内細菌学会, 京都, 6 月 (2010).
- 佐々木直樹, Jiasheng G., 細川和生, 前田瑞夫, 伊藤嘉浩: “マイクロ流路内異種細胞配置・融合法の開発”, 第 21 回化学とマイクロ・ナノシステム研究会, 東京, 6 月 (2010).
- 田村泰嗣, 古川和寛, 阿部洋, 實吉尚郎, 芳本玲, 吉田稔, 常田聡, 伊藤嘉浩: “還元反応を利用した蛍光発生プローブの RNA スプライシング検出への応用”, 第 12 回日本 RNA 学会年会/第 12 回 RNA ミーティング, (日本 RNA 学会), 東京, 7 月 (2010).
- Kadengodlu P. A., Gong J., 劉明哲, 伊藤美香, 阿部洋, Yuba E., Kono K., 竹嶋伸之輔, 蛇島武久, 間陽子, 伊藤嘉浩: “Design and synthesis of nano-carriers for delivery of protein or peptide into cells”, 第 39 回医用高分子シンポジウム, (University of Tokyo), 東京, 7 月 (2010).
- 姜廷和, 阿部洋子, 北嶋隆, 櫻木誠, 和田章, 阿部洋, 伊藤嘉浩: “無機・金属材料への成長因子固定化の試み”, 第 39 回医用高分子シンポジウム, (高分子学会), 東京, 7 月 (2010).
- 姜廷和, 櫻木誠, 阿部洋, 北嶋隆, 相垣敏郎, 伊藤嘉浩: “Covalent immobilization of EGF on dopamine-modified metal surfaces”, 日本化学会第 4 回関東支部大会, (日本化学会), つくば, 8 月 (2010).
- 王偉, 原秀太, 劉明哲, 相垣敏郎, 伊藤嘉浩: “In Vitro selection of peptide aptamer binding to Vitamin B12”, 日本化学会第 4 回関東支部大会, (日本化学会関東支部), つくば, 8 月 (2010).
- 北嶋隆, 小布施聖, Kadengodlu P. A., 伊藤嘉浩: “Preparation of photo-curable human gelatin for cell culture matrix”, 日本化学会第 4 回関東支部大会, (University of Tsukuba), つくば, 8 月 (2010).
- 森=良, 佐々木直樹, 櫻木誠, 細川和生, 吉田靖彦, 伊藤嘉浩, 前田瑞夫: “細胞融合実験用マイクロ流体チップの開発”, 日本化学会第 4 回関東支部大会, つくば, 8 月 (2010).
- 田村泰嗣, 阿部洋, 古川和寛, 實吉尚郎, 芳本玲, 吉田稔, 常田聡, 伊藤嘉浩: “有機化学反応を用いた蛍光発生プローブによる核酸分子の検出”, 日本化学会第 4 回関東支部大会, (日本化学会関東支部), つくば, 8 月 (2010).
- 伊藤嘉浩: “進化分子工学による創発化学”, 新学術領域研究「分子ナノシステムの創発化学」第二回全体会議, (大阪大学産業科学研究所 分子ナノシステム創発化学), 山梨県富士河口湖町, 8 月 (2010).
- 星野洋一郎, 劉明哲, 阿部洋, 伊藤嘉浩, 久保いづみ: “ヘミン結合 DNA アプタマーの電気化学的ペルオキシダーゼ活性測定”, 2010 年電気化学秋季大会, (電気化学会), 厚木, 9 月 (2010).
- 蛇島武久, 竹嶋伸之輔, 弓場英司, 河野健司, Kadengodlu P. A., 劉明哲, 伊藤嘉浩, 間陽子: “抗原提示細胞を介した免疫応答における膜融解性ポリマー修飾リボソームの効果”, 第 19 回日本組織適合性学会大会, (日本組織適合性学会), 東京, 9 月 (2010).
- 伊藤美香, 柴田綾, 阿部洋, Morgenstern R., 周東 (智), 伊藤嘉浩: “グルタチオン S-トランスフェラーゼの基質となる発光プローブの開発”, 第 4 回バイオ関連化学シンポジウム, (日本化学会一生体機能関連化学部会), 豊中, 9 月 (2010).
- 柴田綾, 阿部洋, 伊藤美香, 周東智, Morgenstern R., 伊藤嘉浩: “細胞内グルタチオン-S-トランスフェラーゼ活性検出のためのプローブ開発”, 第 4 回バイオ関連化学シンポジウム, (日本化学会), 豊中, 9 月 (2010).
- 伊藤嘉浩, 小布施聖, 北嶋隆, 松江清美, 松江登久, 田代英夫: “可視光硬化型ゼラチン誘導体”, 第 59 回高分子討論会, (高分子学会), 札幌, 9 月 (2010).
- 伊藤嘉浩, 姜廷和, 櫻木誠, 阿部洋, 北嶋隆: “金属・無機表面への成長因子の固定化による生体機能性付与”, 第 59 回高分子討論会, (高分子学会), 札幌, 9 月 (2010).
- 星野洋一郎, 劉明哲, 阿部洋, 伊藤嘉浩, 久保いづみ: “ヘミン結合 DNA アプタマーの電気化学的ペルオキシダーゼ活性測定における固定化用 polyA 鎖の効果の検討”, 日本分析化学会第 59 年会, (日本分析化学会), 仙台, 9 月 (2010).
- 伊藤嘉浩: “バイオものづくりとしての合成生物学”, 第 11 回「遺伝と変化」懇話会, (長崎大学医学部), 長崎, 10 月 (2010).
- 間下琢史, 實吉尚郎, 阿部洋, 幡野健, 伊藤嘉浩: “ポスト配座固定化能を有する新規修飾核酸の合成”, 第 54 回日本薬学会関東支部大会, (日本薬学会関東支部), 八王子, 10 月 (2010).
- 佐々木直樹, 森=良, Jiasheng G., 細川和生, 伊藤嘉浩, 前田瑞夫: “流れを利用する異種細胞配置・融合用マイクロ流路のアレイ化”, 第 22 回化学とマイクロ・ナノシステム研究会, 名古屋, 11 月 (2010).
- 伊藤美香, 柴田綾, 阿部洋, Morgenstern R., 周東智, 伊藤嘉浩: “グルタチオントランスフェラーゼの基質となる発光プローブの開発”, 第 29 回メディシナルケミストリーシンポジウム, ((社) 日本薬学会・化学系薬学部), 京都, 11 月 (2010).
- 伊藤嘉浩, 小布施聖, 北嶋隆, 松江清美, 松江登久, 田代英夫, 中村真理子, 吉田靖弘: “可視光硬化型ゼラチン誘導体の調製とその性能評価”, 第 32 回日本バイオマテリアル学会大

会, (日本バイオマテリアル学会), 広島, 11月 (2010).

伊藤嘉浩, 姜廷和, 櫻木誠, 阿部洋, 北嶋隆: “無機・金属材料上への成長因子固定化”, 第32回日本バイオマテリアル学会大会, (日本バイオマテリアル学会), 広島, 11月 (2010).

伊藤嘉浩, 小布施聖, 北嶋隆, 松江清美, 松江登久, 田代英夫: “可視光硬化型ゼラチン生体接着剤の開発”, 第48回日本人工臓器学会大会, (日本人工臓器学会), 仙台, 11月 (2010).

中嶋裕子, 阿部洋, 相川京子, 伊藤嘉浩: “分岐型RNA構造体を用いるRNA干渉効果の検討”, 第20回アンチセンスシンポジウム, (RNA学会), 神戸, 12月 (2010).

柴田綾, 阿部洋, 伊藤美香, 中嶋裕子, 周東智, 伊藤嘉浩: “芳香族求核置換反応を利用した蛍光発生プローブの開発”, 第20回アンチセンスシンポジウム, (アンチセンスDNA/RNA研究会), 神戸, 12月 (2010).

福田真嗣, 加藤完, 伊達康博, 近山英輔, 中西裕美子, 坪井裕理, 常田聡, 守屋繁春, 菊地淳, 大野博司: “マルチオーミクス解析による腸内環境分子間ネットワークの構築”, 日本農芸化学会2011年度大会, 京都, 3月 (2011).

劉明哲, 許牧野, 阿部洋, 伊藤嘉浩: “PEG修飾抗体を用いた有機溶媒中における抗原抗体反応”, 日本化学会第91春季年会 (2011), (日本化学会), 横浜, 3月 (2011).

劉明哲, 白井晴奈, 阿部洋, 伊藤嘉浩: “進化分子工学による光応答性ペプチドアダプターの探索”, 日本化学会第91春季年会 (2011), (日本化学会), 横浜, 3月 (2011).

實吉尚郎, 阿部洋, 伊藤嘉浩: “遅延蛍光性核酸分子の創製と検出能”, 日本化学会第91春季年会 (2011), (日本化学会), 横浜, 3月 (2011).

柴田綾, 阿部洋, 伊藤美香, 中嶋裕子, 周東智, 伊藤嘉浩: “高感度シグナル増幅能をもつ遺伝子検出プローブの開発”, 日本化学会第91春季年会 (2011), (日本化学会), 横浜, 3月 (2011).

伊藤美香, 柴田綾, 阿部洋, Zhang J., Morgenstern R., 周東智, 伊藤嘉浩: “新規蛍光プローブの合成とグルタチオントランスフェラーゼに対する基質特異性の解析”, 日本薬学会第131年会, 静岡, 3月 (2011).

間下琢史, 實吉尚郎, 阿部洋, 幡野健, 伊藤嘉浩: “ポスト配座固定化能を有する新規修飾型核酸の合成”, 日本薬学会第131年会, (日本薬学会), 静岡, 3月 (2011).

田村泰嗣, 阿部洋, 古川和寛, 實吉尚郎, 芳本玲, 吉田稔, 常田聡, 伊藤嘉浩: “還元反応を引き金とした蛍光発生プローブによるスプライシング反応産物の検出”, 日本薬学会第131年会, (社団法人日本薬学会), 静岡, 3月 (2011).

蛇島武久, 弓場英司, 河野健司, Kadengodlu Pallavi A., 多田誠一, 劉明哲, 伊藤嘉浩, 竹嶋伸之輔, 周陽子: “ナノ粒子を利用した抗原輸送担体の新規ワクチン開発における有用性に関する研究”, 第151回獣医学会学術集会, (日本獣医学会), 府中, 3-4月 (2011).